

文部科学大臣杯・国土交通大臣杯

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2014

競技会概要

- 1 競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2014
- 2 開催趣旨 全国の連盟登録ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラー達が一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合い、その向上を図るとともに、海外チームとの交流により国内ジュニアセーラー達が国際感覚を磨き、その視野をひろげ、また地元地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙、普及させて、生涯スポーツとしてのヨットの発展に貢献することです。
又、2020年のオリンピック・パラリンピックが東京開催に決定したので、この実現に協力してくれた世界各国のジュニアセーラー、指導者を招待して、お礼を兼ねての「おもてなし」の心遣いで国際親善の競技会を開催し、日本全国のジュニアセーラー達がこの交流試合を通して世界レベルの選手に成長する機会となることを期待します。
開催期間中は会場周辺の海で都民の方を対象としたヨット体験試乗会やレース観戦ツアーを予定しております。
- 3 主催 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟（以下JJYUと云う）
東京都ヨット連盟
- 4 共催 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
- 5 後援 文部科学省 国土交通省 東京都 江東区
江東区体育協会
公益財団法人日本セーリング連盟（以下JSAFと云う・承認番号H25-51）
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(以下YMF Sと云う)
日本オブティミストディンギー協会(以下OP協会と云う)
日本レーザークラス協会 日本420協会 株式会社舵社
- 6 協賛 エスビー食品株式会社 アサヒ飲料株式会社
若洲シーサイドパークグループ ヤンマー船用システム株式会社

7 協 力 東京海上保安部 東京湾岸警察署 城東消防署 臨港消防署
 夢の島ヨットクラブ 江東区ヨット連盟 中央区ヨット連盟
 江東区立小中学校セーリング部
 日本大学松戸歯学部ヨット部 早稲田大学高等学院ヨット部
 東京都立大島海洋国際高等学校 東京都立日本橋高等学校
 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2014 参加クラブ指導者・保護者

8 運 営 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2014 実行委員会

9 競技会役員	会長	石原伸晃	J J Y U 会長
	副会長	佐藤精知夫	J J Y U 会長代行
		安井 清	J J Y U 副会長
		北住威彦	東京都ヨット連盟会長代行
	名誉顧問	山崎孝明	江東区長・東京都ヨット連盟顧問
		河野博文	J S A F 会長
	委員長	伊藤雅宣	J J Y U 専務理事
	副委員長	高橋祐司	東京都ヨット連盟理事長

10 期 日 平成 26 年 5 月 3 日(土・祝日)、4 日(日)、5 日(月・祝日)の 3 日間

11 行事日程	競技会受付	5 月 3 日	08 : 00 ~
	都民の親子ヨット体験試乗会及びヨットレース観戦会		10 : 00 ~ 14 : 00
	トライアルレース		12 : 30 ~ 14 : 30
	開会式		16 : 30 ~ 17 : 30
	安全講習会		17 : 30 ~ 17 : 50
	競技運営説明会		17 : 50 ~ 18 : 20
	国際交流会とイベント		18 : 30 ~ 20 : 00
	競技会第 1 日目	5 月 4 日	09 : 30 ~
	競技会第 2 日目	5 月 5 日	09 : 30 ~ 13 : 00
	閉会式		16 : 00 ~ 17 : 00

12 会 場 東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所
 〒136-0083 東京都江東区若洲 3 丁目 1 番 1 号
 連絡電話 03-5569-6703 (指定管理者 若洲シーサイドパークグループ)
 ※開会式・国際交流会会場：マリナーズコート東京
 〒104-0053 東京都中央区晴海 4-7-28

連絡電話 03-5560-2525

※競技海面：東京湾若洲沖（OP級上級者、レーザー4.7、国際420級）
及び東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所ポンド内（OP級初級者）

※閉会式会場：東京都立若洲海浜ヨット訓練所内

1 3 競技種目 (1) OP級初級者 (2) OP級上級者 (3) レーザー4.7
(4) 国際420級

1 4 競技内容 (1)種目別個人対抗レース
①国内ジュニアヨット種目別個人対抗レース
②国際交流ジュニアヨット種目別個人対抗レース
(2) ジュニアヨットクラブ対抗レース
①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース
②国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レース
詳細は別紙「レース公示」の通りです。

1 5 賞

(1)個人表彰 ①特別表彰 文部科学大臣杯 国土交通大臣杯
東京都知事杯 江東区長杯
小澤吉太郎杯 奥村純雄杯
② J J Y U表彰 J J Y U表彰状とメダル、
③国際交流表彰 J J Y U表彰状とメダル

(2)団体表彰 ①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース J J Y U会長杯、入賞盾、表彰状
②国際交流ジュニアヨットクラブ対抗レース J J Y U表彰状と盾

(3)特別賞

国内ジュニアヨットクラブ対抗レース上位3クラブの選手（各クラブ1名）をJ J Y Uが主催する海外セーリング研修に派遣、その渡航費を援助します。

なお、当連盟の海外研修の目的から、各クラブにおいて派遣選手を選抜する際に下記の通りのことを配慮するものとします。

- ①本競技会に参加した選手であること。
- ②過去に海外セーリング(競技大会やセーリングクリニック等で)の経験のない選手であること。
- ③連盟の指導者が引率するが、基本的なこと(生活、練習等)は自分で出来ること、積極的にコミュニケーションが取れること。(語学が上手ということではない)
- ④挨拶、礼儀がきちんとできること。
- ⑤ホームステイを前提とするので、楽しく明るく生活できる心を持った人であること。

1 6 参加資格

- (1) 国内参加選手は平成 26 年度 JSAF 会員である者
会員未登録の場合は参加受付時に会員登録の申込を受付けます。
- (2) J J Y U に登録しているジュニアヨットクラブの提出する当該年度ジュニアセーラー名簿記載の選手
万一、未登録クラブの選手の場合は参加申込み時までにクラブの登録をして参加資格を取得して下さい。
- (3) 主催者が招待した海外チームの選手
招待する海外チームの国は次の国々から 8 ヶ国
ベルギー、イギリス、スペイン、ドイツ、デンマーク、イタリア、台湾、香港、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、タイ、韓国、
- (4) 主催者が参加を認めた選手
- (5) 各級の年齢制限(平成 26 年 4 月 2 日現在)を満たす者
 - * O P 級 6 歳以上 15 歳以下
 - * レーザー 4.7 12 歳以上 18 歳以下
 - * 国際 4 2 0 級 15 歳以上 18 歳以下

1 7 参加料等

(1) 参加料

選手	9,000 円 /1人	(交流会費・弁当代込)
J J Y U 未登録クラブの選手	13,000 円 /1 人	(交流会費・弁当代込)
2 人乗り艇(420 級)選手	18,000 円 /1 艇	(交流会費・弁当代込)
指導者・保護者	3,000 円 /1人	(交流会費込)
J J Y U 未登録クラブの指導者・保護者	5,000 円 /1 人	(交流会費込)
同伴小中高生	2,000 円 /1人	(交流会費として)

※参加料は、単に選手のレース参加料のことだけでなく選手の応援、援助で本競技会に参加していただく指導者、保護者の参加料のことも含めるものです。

※国際交流会は競技会の大切な行事です。是非とも選手はもとより指導者、保護者、同伴者も全員参加してください。レースに参加しない小中高生は交流会費としての参加料 2,000 円/1 人をご負担下さい。

(2) 弁当 (飲物付き) は参加選手全員に 3 日間無料配布します。

指導者・保護者、同伴小中高生で弁当希望者は、600 円/個 (飲物付き) ですので、クラブで纏めて、申込書に競技会の日程ごとに希望数を記入して申し込んで下さい。

※競技会最終日 (5 日) の昼食のカレーは全員に無料で提供します。

【注意事項】

- ※本競技会前日以降の参加取り消しには原則として参加料等の返却は致しません。
- ※本競技会に参加料等を支払った選手、指導者、保護者、同伴小中高生には参加の証として参加者全員に着用して頂くユニフォームを用意します。
- ※交流会費を支払った証として競技会参加タグを配布しますので、交流会の時は胸に掛けて下さい。
- ※本競技会から、東京都若洲ヨット訓練所へのヨット、サポートボートの持ち込みについて利用料が徴収されることになりました。本競技会では減免申請により半額になりましたので、夫々1艇1日当たりヨットは500円、サポートボートは750円です。ヨットについては競技会で負担しますが、サポートボートについては各クラブでの負担をお願いします。
- ※本年度から若洲ヨット訓練所の指定管理者が駐車場料金（500円/日）を徴収しますので、直接個別にお支払い下さい。

(3) チャーターボートについて

OP級、レーザー4.7、国際420級についてチャーター艇の用意がありますが、隻数、艇の状態については限度がありますので、希望に添えない場合がありますので、実行委員会に照会の上、参加申込書に記入して申し込んで下さい。

チャーター（競技会期間）は以下の通りです。

OP級（国産艇）	5,000円
レーザー4.7（一式）	13,000円
レーザー4.7（ロアマスト・セールのみ）	3,000円
国際420級（一式）	20,000円

（OP級は国産艇ですが、初級者、上級者どちらにも貸与します。）

尚、選手自身の責任による衝突その他による艇、備品の破損等の修理代を担保するために、クラブとしてデポジット20,000円を参加料と共に納入して下さい。

特に何も問題がない場合には、競技会終了後出来るだけ速やかに返金しますので、振込先を記入して下さい。

18 参加申込方法

所定の「参加申込書」と「参加選手リスト」（名前には必ずフリガナを付けて下さい）に必要事項を記入の上、期限までに下記の申込み先宛てにメール又はFAXして下さい。

メール送信可能な方はファイルを添付するメール送信で参加を申込んで下さい。

その場合のファイルの様式は下記の申込み先のメールアドレスにお問合わせ下されば返信いたします。連盟のホームページからもダウンロード可能です。

参加申込みと同時に、参加料等はJJYUの下記銀行口座へ振込手続きをして下さい。

（振込手数料のご負担をお願いします）

《参加申込み先》

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会
事務局長 熊川 博 (J J Y U 理事・事務局長)

E-mail info@jjyu.net

FAX 0466-90-3618

電話 0466-90-3617

携帯電話 090-5993-1298

《参加料等振込先》三井住友銀行 新橋支店

普通預金口座番号 1417976

口座名義 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

1 9 申込み期限

「参加申込書」、「参加選手リスト」のメール/FAX 及び参加料等の振込は
平成 26 年 4 月 14 日 (月) までに必着とします。

2 0 宿泊の紹介 競技会期間中の宿泊については参加申込書に同封の「宿泊施設のご案内」
を参考の上、各自でお申込下さい。この時期はゴールデンウィークの予約
で大変混み合いますので早めに予約を済ませて下さい。

2 1 サポートボート 「参加申込書」第 5 項に必要事項を記入の上、申込んで下さい。
持込みについて利用料 (1 艇 1 日当たり 750 円) を参加料と一緒に振り込んで下さい。
尚、サポートボートには救助活動を要請することがあるため、出力 5 W のデジタル簡易無
線機を貸与し搭載して頂くので、破損、喪失を担保するためにクラブとして、デポジット
10,000 円をお預かりしますので、参加料等と共に納入をお願いします。
特に何の問題もなく返却頂いた場合には、競技会終了後出来るだけ速やかに返金しますの
で、振込先を記入して下さい。

2 2 留意事項 *本競技会は選手を教育、指導する目的を有するものですから、その所属す
るクラブの指導者・保護者が競技会及びレース運営について意見や疑義
を申したてる場合は、参加申込みをした指導者・保護者のうち、あらか
じめ届けのあった指導者代表者 1 名 (J J Y U 公認指導員であること)
に限定されるものとします。
*本競技会は選手の安全を第一とするために、出艇及び帰着申告はその所
属するクラブの指導者・保護者が責任をもって自分のクラブの全選手に
ついての届出をすることとします。
*競技会参加者は自らスポーツ傷害保険及び損害賠償責任保険に加入して
下さい。

- * 競技会参加者は健康保険証（カードまたはコピー）を持参して下さい
- * 熱中症予防のため、帽子・パラソル・テント等の日除け及び飲料水を用意して下さい。

【問合せ先】

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会実行委員会
事務局長 熊川 博（JJYU理事・事務局長）

E-mail info@jyu.net

FAX 0466-90-3618

電話 0466-90-3617

携帯電話 090-5993-1298